

教育ICTの学びによる笑顔を、最前線からレポート！

No.2

学校での 情報セキュリティ対策を、 ICT推進担当者に聞く

杉並区役所

教育委員会事務局 庶務課 学校ICT推進担当

北淵英悟氏、粕谷悠太氏

些細なことでもリスクになる可能性があるんだと、気付けるような内容だと思います

2007年度から、「授業の改善」、「個別学習と協同学習の推進」、「教職員の校務負担軽減」の3つを目的にICT環境整備を進めている杉並区教育委員会様に、整備と併せて実施している教育情報セキュリティ対策についてお話を伺いました。



北淵 英悟氏（きたぶち ひでのり）
杉並区役所 教育委員会事務局 庶務課
学校ICT推進担当係長（写真 左）

粕谷 悠太氏（かすや ゆうた）
杉並区役所 教育委員会事務局 庶務課
学校ICT推進担当（写真 右）

ICT環境整備を進めるなかで、どんなときにセキュリティの必要性を感じたのでしょうか。

北淵 学校で認可していないソフトウェアがダウンロードされたら、データセンターに警告が届いて、慌てて電話して対応するなんてことが結構あるんです。先生方には1人1台インターネットに接続できる校務用パソコンを整備しているので、技術・意識両面での対策が必要と感じました。

どのようなセキュリティ対策を行っていますか？

北淵 教員のパソコンでは校務系の処理とインターネット接続を別々のIDと回線を切り分けて使うようにしたり、教員用と児童生徒用の端末は全く別の回線を利用するなどの対策を実施しています。意識面では、以前は民間企業が使う一般的なeラーニングを活用して、先生

方の情報セキュリティのリテラシー向上を図っていました。集合研修をするといつても、児童・生徒が下校した後に翌日の授業準備をしたり、先生方は忙しく時間は限られているので、負担なく、かつ勉強になる方法としたい、eラーニングを選びました。

当社のeラーニングを選択した理由を教えてください。

北淵 より実態に即した対策のため、教育現場にも教員向けのeラーニングを導入することになったのがきっかけですね。

粕谷 その中で貴社の商品を選んだ理由は、2017年度の文部科学省「教育情報セキュリティポリシー」に関するガイドラインに準拠しているからです。貴社がこのガイドライン策定に携わったということも安心材料でした。

受講した先生方からは、どんな声がありましたか？

北淵 受講後のアンケートには、「個人情報情報の漏洩、ウイルス感染やサバーバー攻撃に細心の注意をはらって職務遂行することが重要と感じた」、「意識向上によりツールだと思ふ。現場教員の『どうしたらいいの?』と思う気持ちに寄り添うようにつくられていて、良かった」など様々な声がありました。

粕谷 私も実際に受講してみま

したが、学校が舞台のアニメーションなので、難しい内容でも校務のイメージがしやすいかったです。集中力が切れないよう、途中で問題が出てきて、効果的に学べるなど感じました。職員の日常にありそうな、些細なことでもリスクになる可能性があるんだと、気付けるような内容だと思っています。

今後のセキュリティ対策で考えていることを教えてください。

北淵 現行の教育情報セキュリ



実際のアニメーション

ティの基本方針を見直し、より安心・安全なICT活用につなげていきたいと考えています。また、校長先生や副校長先生など学校管理職の先生方は、セキュリティ意識を醸成する上で重要な方なので、集合研修で理解を深めてもらうことを考えています。

導入いただいている商品

学校現場に特化！
1テーマ3～5分
すさまじい時間！

全教職員向け
教育情報セキュリティ
eラーニング

忙しい教職員の方々も、短時間で学校現場に特化した情報セキュリティを学べるeラーニングです。文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に準拠しています。

※当社は、平成29年度（2017年度）に文部科学省が実施した「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン普及事業」を受託しており、豊富な知見を持っています。